

要 望 書

国道 175 号 東播丹波連絡道路

早期実現促進実行委員会

要 望 書

平素は、国道175号東播丹波連絡道路の整備推進に、格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

兵庫県の中央から中央東部に位置する北播磨・丹波地域は、子午線に沿って日本海と瀬戸内海をつなぐ国道175号により県内外の地域と結ばれ、その恩恵によって発展してきました。しかし、産業構造の変化や高齢化の進展、人口減少、気候変動に伴う災害の激甚化・頻発化等により、地域への深刻な影響が懸念されつつあります。このような中、経済復興のためにも、誰もが安全・安心に暮らせる地域づくり、地域特性を生かした産業の活性化と賑わいあふれる地域づくり、持続可能な地域づくりの推進が一層重要となっています。

近年、全国各地で想定をはるかに超える甚大な災害が頻発する中、平成30年7月豪雨では、中国自動車道、山陽自動車道をはじめ、周辺のほとんどの高規格道路が通行止めとなる中、国道175号は高規格道路ネットワークを補完する広域迂回路として、大変重要な役割を果たしました。

現在、東播丹波連絡道路は、西脇北バイパスの整備を令和8年春の全線開通にむけて着実に進めていただいています。また、近畿ブロック及び兵庫県新広域道路交通計画において高規格道路として、そして災害に強い国土幹線道路ネットワークの構成路線として位置づけていただいております。地元では、事業中区間の早期完成、さらには東播丹波連絡道路の全線開通への期待はますます高まっており、地域全体へ大きな効果をもたらす本道路の早期実現を強く待ち望んでいます。

御当局におかれましては、当地の実情をご賢察いただきまして、道路整備にあたっては地域の幅広いニーズを汲みとり、計画的・安定的に整備が進められるよう、新たな財源の創設等により、令和7年度道路関係予算は、賃金水準などの上昇も加味した上で、所要額を満額確保いただきたくお願い申し上げます。また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」について、最終年度となる令和7年度においても、必要な予算・財源を確保いただきたく、お願い申し上げます。併せて、能登半島地震などを踏まえ、国土強靱化実施中期計画を令和6年内の早期に策定するとともに、必要な予算・財源については、国土強靱化のみならず、生産性向上の観点からも例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進することについて格別のご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

要 望 事 項

国道 175 号東播丹波連絡道路の早期実現

(1) 事業中区間の早期開通

- ・ 西脇北バイパス（西脇市下戸田～黒田庄町大伏）の
令和 8 年春の確実な開通に向けた整備推進

(2) 調査中区間の早期事業化

- ・ 西脇市黒田庄町から丹波市氷上地域間の早期事業化に
向けた速やかな「計画段階評価手続き着手」及び「ルート
決定」

令和 6 年 7 月 30 日

国道 175 号東播丹波連絡道路

早期実現促進実行委員会

会 長 西脇市長 片 山 象 三

副会長 丹波市長 林 時 彦

兵庫県議会議員

(西脇市・多可町)

内 藤 兵 衛

兵庫県議会議員

(丹波市)

石 川 憲 幸